

竹野連合修学旅行

令和3年11月5日(金)・6日(土)



【1日目】

今年も新型コロナウイルス感染症対策のため一度延期になりましたが、無事最後の3校連合の修学旅行を終えることができました。

94歳になられた江種祐司さん、高齢を感じない張りのある声で、被爆直後のヒロシマの参事を話してくださいました。講話の最後に「命の続く限りヒロシマの心を続けたい。」と言われました。



八月の朝に落とされた一発は今も多くの人を苦しめる



「原爆の子の像」の前で開催した平和集会。「修学旅行で平和公園を訪れた今、いじめや差別を許さず、平和を求めて優しく生きていくことをちかいます。」と力強く宣言。最後に千羽鶴を捧げ集会を閉じました。

平和の鐘、原爆供養塔、韓国人原爆犠牲者慰霊碑、原爆慰霊碑…など訪ねた碑めぐり。広島の人々を元気づけた被爆アオギリにも出会いました。

江種さん
お願いをこめて
ついでに
お願いを
願う人
に



ヒロシマを
今に伝える
資料館
そこで見たい
忘れられない



目を背けたくなるような数々の資料が展示されている原爆資料館。

佐々木禎子さんの折った鶴も展示してありました。多くのことを学び、平和の大切さを痛感した1日でした。



資料館
つらい思い出
よみがえる
たくさんの人
焼き殺された

資料館
原爆のこわさ
思い知る
二度としないで
戦争なんて



【2日目】

起床後のテキパキとした行動で、2便も早いフェリーで宮島に向かうことができました。残念ながら海にそびえ立つ大鳥居はメンテナンス中で見ることができませんでした。満潮の厳島神社、参道になっている板のすぐ下まで海水が迫っていました。通過後しばらくして閉鎖になったそうです。



楽しみにしていた買い物。もみじ饅頭など、家族や自分の土産を買う楽しそうな姿がありました。1時間半があっという間に過ぎていきます。



鷲羽山ハイランド、点在する島々、雄大な瀬戸大橋…瀬戸内海の大パノラマをバックに1時間半の空中散歩を楽しみました。



コロナ禍の中で実施された修学旅行。広島を訪れたからこそ味わえた感動。トイレとバスタブがセットのユニットバス、バイキング…新たな体験もできました。3校連合最後の修学旅行は実り多いものとなりました。

たくさんの
お土産買って
お金ない
余ったお金
三百円